

6月30日：売りに押されVN指数は反落

大引けにかけて売りが強まり、ベトナム株は下落した。

ホーチミン市場のVN指数は0.11%安の1,408.55ポイントだった。

同指数は前日0.30%安の1,410.04ポイントで引けていた。

出来高は前日と比べ、少し減少した。売買高は5億9,500万株以上、売買代金は21兆ドン（9億1,100万米ドル）だった。

VN30指数は組入銘柄の半数が売られ、0.06%安の1,529.00ポイントで取引を終えた。

急に売りが増えたことで多くの大型株が下落し、VN指数もその煽りを受けた。中でもペトロベトナムテクニカルサービス（PVS）、ファットダット不動産開発（PDR）、ヴィエティンバンク（CTG）、リエンベトポストバンク（LPB）、ペトロリメックス（PLX）、アジアコマーシャル銀行（ACB）は大きく落ち込んだ。

その反面、ベトコムバンク（VCB）、ビンググループ（VIC）、VPバンク（VPB）、ベトナム投資開発銀行（BID）といった一部の大型株には買いが入った。

「取引時間のほとんどでVN指数は堅調に推移したが、1,410ポイントを割り込んで取引を終えた。外国人投資家はホーチミン市場で買い越し、ハノイ市場で売り越した。その一方でマーケットに流入する資金は減少した」（BIDV証券）

「前日と比べ出来高は減少し、値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回った。我々の見方ではVN指数は今後少し売られ、1,400ポイント付近を試す可能性がある」（同証券会社）

外国人投資家はホーチミン市場で、ノブランド不動産投資グループ（NVL）1兆5000億ドン、ビンホームズ（VHM）2,163億ドン、ベトコムバンク（VCB）1,331億ドンを含む合わせて1兆7,500億ドンを買越し越した。

一方ハノイ市場では、40億1,000万ドンを売り越した。

業種別では、全25業種のうちヘルスケア、小売、食品飲料、物流、建設を含む9業種が上昇した。

一方で不動産、証券、情報技術、銀行、農業、水産加工、卸売、保険、石油ガス、ゴム製品、建設資材といった業種が下落した。

ハノイ市場の HNX 指数は 0.15% 安の 323.32 ポイントだった。

同指数は前日 0.21% 高の 323.79 ポイントで引けていた。

売買高は 1 億 300 万株以上で、売買代金は 2 兆 4,000 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。